

第72回 熊本県立 天草高等学校定時制入学式

天草高校 定時制新聞

〒863-0003
天草市本渡町本渡557番地
TEL 0969-23-5533
FAX 0969-25-1168

発行者：定時制生徒会・職員

天草高校定時制 検索

4月号



春の暖かさが感じられるようになった四月八日(月)入学式を挙行しました。本年度は二名の新生が式に臨み、来賓の皆様をはじめ、在校生、職員で迎えました。早く学校に慣れて、充実した学校生活を送ってください。



対面式

4月9日(火)、対面式を行いました。新入生は生徒会長の歓迎の言葉で迎えられました。



新任式
今年度は、四名の先生が赴任されました。先生方、ご指導よろしくお願いいたします。

【図南】 定時制教頭 星子洋一郎
今年の四月に赴任しました定時制教頭の星子洋一郎と申します。生徒の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

定時制勤務は初めてですが、毎日、昼前に出勤して事務的業務を済ませた後、午後五時から正門の「図南(となん)橋」で先生方と一緒に登校する生徒の皆さんに声をかけをし、午後九時過ぎに生徒の皆さんが帰った後見回り裏門の「天神(てんじん)橋」を閉めることを日課としています。

そんな中、橋の名前にもなっている「図南」という言葉が気になりました。天草高校同窓会も「図南会」といいます。初めて聞く言葉でした。いったい「図南」とはどんな意味なのか、周りの先生方に聞いてもこれだという答えは返ってきません。皆さんは「図南」でどういう意味なのか知っていますか？

広辞苑には「莊子」鵬(おおとり)が南方に向かつて翼をひろげようとする意、遠征を試みる。転じて、大事業をくだるること。「図南鵬翼」とあります。わかつたようでよくわからない説明です。ますます「？」が大きくなりました。

ところが、先日「図南会(天草高校同窓会)総会」に参加させていただいて、答えを見つけることができました。平成十五年、当時の同窓会長堀田善久先生の「未来に飛び立つ鵬たち」と題した講演の中で次のような話をされています。「図南」とは中国の漢籍の中で老荘思想の『莊子』から取った言葉である。中国の殷(いん)という国の王様が大臣から「北冥に大きな湖があつて、そこに大きな鰲(こん)という魚がいた。その大きな魚は鵬という大きな鳥に化けた。その鳥があるとき羽ばたいて九万里の上空に飛び上がり、南を目指して飛んでいった」という話を聞いた。南の方角は「ユートピア」を意味し、暖かくて食料が極めて豊富で素晴らしい地域。南は「理想の天地」を意味した。それ以来、南を目指すということは大きな志を持つこととされるようになった。一ということ。

「図南」には「天草高校の生徒たちは、生きる力を備え、個性豊かに輝き、社会に貢献する人材として『図南の翼』を大いに羽ばたかせてほしい」という願いが込められています。

私も微力ながら、「君の輝く場所が天定にある！」をスローガンとする「チーム天高定時制」の一員として職員と力を合わせて頑張ります。生徒の皆さんもそれぞれの目標達成を目指して一緒に頑張っていきましょう。

平成31年度(2019年度)天高定時の先生方



平田浩一
校長



菅 浩
副校長



星子洋一郎
定時制教頭



竹本民和
主任事務長



上田和久
3年副担任
保健体育



三嶋愛一郎
4年副担任
英語



古田徳仁
4年担任
理科



田中克樹
3年担任
数学・情報



野本憲作
1年担任
国語



下川明大
2年担任
地歴公民



山瀬 綾
2年副担任
国語



山下奈実
1年副担任
数学



田中春奈
養護



林 朋子
事務



田中清隆
技師